令和3年度第2回理事会議事概要

日 時 : 令和3年5月14日(金) 15:30~16:05

場 所 : 森林総合研究所特別会議室(つくば市)
(今泉理事、中西総括審議役、石原総括審議役、森谷審議役はTV会議で参加)

出席者	理事長	浅野 透
	理事(企画・総務・森林保険担当)	矢野 彰宏
	理事(研究担当)	坪山 良夫
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	今泉 裕治
	理事(森林業務担当)	志知 雄一
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	寺川 仁
	総括審議役	中西 誠
	総括審議役	石原 聡
	審議役	森谷 克彦
	企画部長	小林 功
	総務部長	青柳 浩

1. 開会

(寺川総括審議役)

令和3年度第2回理事会を開催いたします。

本日は報告事項が7件です。それでは順次、説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1. 令和3年度監事監査計画書について

(平川監事)

令和3年度監事監査について、規程に基づき事前に監査計画を提出することになっており、先月、理事長に監事監査計画書をお渡ししました。その計画について簡単に説明させていただきます。監査項目について、実施要領で定められている内容、主には内部統制にかかることですが、それらについて監査を行うこととなります。監査対象箇所は、森林総合研究所等と整備センター、保険センターの3つに分けています。

森林総合研究所の業務監査については、秋口から年度末にかけて実施します。会計検査については令和2年度の監査を6月に行う予定としております。

林木育種センターについては毎年伺っており、秋口から監査を開始します。地方の往査について、今年度は東北支所と四国支所、東北育種場と四国増殖保存園に伺う予定としております。

整備センターおよび保険センターの監査計画については、鈴木監事から説明します。

(鈴木監事)

本来であれば、計画書に監査場所を記載するのですが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては変化があるかもしれません。現在決まっているところでは東北北海道整備局、青森水源林整備事務所、中部整備局、富山水源林整備事務所、中国四国整備局、松江水源林整備事務所に伺う予定としております。

保険センターは毎年、被害状況を見て決めることになっており、こちらについてはまだ決めておりません。

(井田理事)

コロナ禍の中において、監査項目として特別な視点を考えているところはあるのでしょうか。

(平川監事)

令和2年度の監査ではどのような対応をしたのか聞き取り等を行いました。今年度も同様にどのような対策を行ったのかなど聞き取りを行うことになると思います。

(鈴木監事)

リモートワークで何か不都合がなかったか、聞き取りを行う予定としております。

I-2. 令和2年度 原種苗木等の配布実績等について

(今泉理事)

令和2年度の原種苗木等の配布実績について取りまとめましたので報告します。ちなみに原種苗木等の「等」とは苗木以外に穂で配布するものも含まれていることから原種苗木等としております。

実績については、いわゆる特定母樹、間伐等特措法に基づいて農林水産大臣の指定を受けたものの苗木等の配布が非常に伸びています。一方で「その他」に何が入っているのかについては、本数的に多いものは北海道のカラマツ精英樹、そのほかにスギ、ヒノキも一部入っております。東北では雪害抵抗性、スギカミキリ抵抗性といった特殊な品種もリクエストされており、そういったものを含めて「その他」に入れております。

令和元年度は北海道からの要望が落ち込んでおります。背景まではわからなかったのですが、平成30年に胆振東部地震や豪雨災害があり、その影響があったのかなと想像しております。いずれにしても中期的にみれば特に特定母樹については着実に配布を伸ばしてきております。

要望も増えており、大臣の指定も進んできていることから、リクエストに応じた配布を今後も進めていきたいと考えております。

(浅野理事長)

マツノザイセンチュウ抵抗性品種が減っている理由は、東日本大震災対応で配布が多かったものが減ってきているということでしょうか。

(今泉理事)

そこまでは分析しておりません。後日報告します。

(矢野理事)

令和元年から令和2年にかけて花粉症対策品種の配布が減っていますが、花粉症対策品種の苗木は増えてきていると思います。原種が減っている理由はわかりますか。

(今泉理事)

そこも分析はしていませんが、県からの要望があったものと育種センター、各育種場の配布の作業の結果、需給のバランスが一致したところで結果として数量がでてきます。

以前、林野庁で花粉症対策の担当課長をやっておりましたので、その感覚で推定の話になりますが、採種園とか採穂園を県が整備する際、従来の精英樹の採種園、採穂園から花粉症対策品種に切り替えると一時的に予算や労力がかかります。その切り替えのタイミングでリクエストが来ることとなります。また、一通り整備が済んでしまうとリクエストが減るので、不連続に増えたり減ったりということになり、その辺が影響しているのかな、と考えます。

I-3. 令和3年度における森林整備センターの職員採用について（非公表）

※志知理事から本件の説明が行われた。

I-4. 令和3年度 森林整備センターにおける森林総合監理士（フォレスター）育成の取組について（非公表）

※志知理事から本件の説明が行われた。

I-5. 令和2年度森林保険センターの業務実績について
（石原総括審議役）

令和2年度の森林保険業務実績について報告させていただきます。保険の加入率は7.5%ということで、前年度の同期と比べて0.3%の減少となっています。次に保険料収入について、18億1千2百万円で、対前年度比103%となっています。一方、森林保険の加入面積は59万1千ヘクタール、責任保険金額が6千6百4億円ということで、それぞれ対前年度比96%、97%の微減になっています。契約面積、責任保険金額が減少しているにもかかわらず保険料収入が増加していますが、これについては契約をⅠ齢級とⅡ齢級以上ということでおこなっていますが、Ⅰ齢級については新規契約面積が増加しており、2齢級以上については契約面積が減少しています。内訳として保険料率の低いクラスが減少しており、保険料率が中、高のクラスについては増加していることから、全体面積は減少しているものの保険料収入が増加したという結果になっております。

次に保険金の支払額ですが、3億4百万円ということで、対前年度比で77%となっております。令和2年度はここ数年の大規模な災害の発生に比べますと災害が少なかったということもあり、ここ数年来ではかなり支払額が少なくなっております。

I-6. 地域状況に応じた主な新型コロナウイルス感染症対策
（寺川総括審議役）

現在の感染状況については、緊急事態宣言が6都府県に出されており、まん延防止等重点措置実施区域は8道府県で、いずれも5月31日までとなっております。これに加え、5県がまん延防止等重点措置重点地域適用の要請をしており、本日、審議されたようです。そのような中で、北海道については緊急事態宣言が出されるようです。そのほか、岡山、広島も緊急事態宣言の期間が始まり、群馬、石川、熊本もまん延防止等重点措置重点地域の適用となるようで、徐々に地方に広がっている傾向です。

茨城は12市町村が感染拡大市町村に指定されており、つくば市もこの中に含まれていることから、対策を求められることとなります。

森林研究・整備機構の各組織の所在地における発令等の状況および感染防止対策の内容については表にまとめたとおりです。

表にまとめた対策以外にも、下に書いてありますように機構の「新型コロナウイルスに係る感染予防対策」に基づき、具体的には、マスク、手洗い、体温測定、消毒、3密を避ける、感染疑いのある者の自宅待機、出張の制限、会議およびイベント開催の制限、時差出勤の推進等を進めております。

I-7. 森林整備センターにおける新型コロナウイルス感染症対策について（非公表）

※志知理事から本件の説明が行われた。

(鈴木監事)

緊急事態宣言およびまん延防止等措置重点地域適用について、重点措置期間は6月13日までとなっていたと思いますが、5月31日で区切るのはいかがでしょうかと思います。今後のことになると思いますが、リモートワークの環境を整え、出来る限りリモートワークで対応していくという方針を示した方が良いのではないかと感じます。

(寺川総括審議役)

リモートワークについては、できる方向で対応を進めています。

つくばにおいて、公共交通機関を利用して通勤している者は時差出勤で対応していたいております。感染拡大市町村に指定されている地域から通勤する者については自宅勤務可能としております。なお、時差出勤、自宅勤務可能の判断は緊急事態宣言等の発令に合わせて実施しており、現在はそういった根拠に頼りながらの対応としております。

なお、リモートワークの解除の際は解除期間を緩めに設定するなど、出来る限りのことはやっております。

(浅野理事長)

リモートワークの制度化を進めており、現在は組合と交渉している段階です。本来であれば4月から導入したかったのですが、最後の詰めで遅れています。制度化をできる限り早めに進めていけるよう考えております。

(鈴木監事)

ありがとうございます。

(寺川総括審議役)

補足ですが、支所において濃厚接触者の方が感染したということがあり、職場内感染が強く疑われている状況です。当該支所に対しては職場内感染についての対策、主に休憩の仕方、食事の仕方について対策を取っていただくことにしております。また、その対策はほかの支所等でも共有していきたいと考えています。

特に、昼食時、集まってマスクを外して話しがちだと感じるので、その辺を中心に対策を考えていかなければならないと感じています。

(浅野理事長)

飲食店の営業自粛に伴い、飲食店関係での感染は減っており、職場関係での感染が拡大しているとのデータも出ているようなので、気をつけて行かなければならないと感じています。

(寺川総括審議役)

職場以外では、家庭内の感染も多いと聞いています。完全に防ぐのは難しいのですが、

家族への呼びかけの必要性も感じています。

(寺川総括審議役)

用意した事項は以上になりますが、その他、何かありますでしょうか。

(浅野理事長)

最後の話題にありました新型コロナウイルスについては先が読めない状況が続いています。徐々に地方に広がっている傾向にありますので、地方だからといって安心することなく、皆さん、気を引き締めていただければと思います。よろしく申し上げます。

(寺川総括審議役)

今回は6月11日の金曜日を予定しております。開催方法は後日連絡いたします。なお、6月11日は議題として昨年度の決算、事業報告書などを予定しておりますので、時間について通常より長めの1時間30分程度を予定しております。また、同じ日にメンバーの多くが理事会と重複しているリスク管理委員会を行いたいと考えております。当日の開催時間については後日お知らせします。

(浅野理事長)

第1回機構会議について、参集で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン中心で行うことに切り替えさせていただきます。よろしく申し上げます。

(寺化総括審議役)

これで令和3年度第2回理事会を終了いたします。

3. 閉会